| 学校番号 | 3035 |
|---|---|

# 令和８年度　英語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 英語 | ディベート・ディスカッションⅠ | ２ | １学年 | 副教材「総合英語 be Voyage to English Grammar(いいずな書店)」<br>「総合英語 be Voyage to English Grammar 46（いいずな書店)」<br>「総合英語 be Voyage to English Grammar Endeavor Step by Step(いいずな書店)」<br>「新・英語の構文 150（美誠社)」 |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ディベート・ディスカッションの授業ではまず基礎的な文法事項を「読む」「聞く」活動で身に着けた上で「書く」「話す」という活動を通してより深い理解を深めていきます。自分の考えをテーマに沿った文法事項を使って表現する活動を多く行います。積極的に活動に参加しましょう。
・文法と語彙はどちらも実際に使ってみて使い方を覚えるのが大事です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
・文法事項を身に着けるには「反復練習」が必要です。日ごろから「聞く」「音読する」ということを繰り返して、相手に伝わる表現力も身につけるように心がけましょう。

## ２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

| 領域 | 聞くこと | 読むこと | 話すこと<br>（やり取り） | 話すこと<br>（発表） | 書くこと |
|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | ・趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば、具体的な情報を聞きとることができる。<br>・ダンスや物の制作の手順についてゆっくりはっきりと指示されれば、その通り行うことができる。 | ・３００語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。<br>・簡単なマニュアルや手引書などを理解し、その内容に沿って行動することができる。 | ・日常的な挨拶ができる。<br>・相手のサポート（スピーキングスピード、使用語句表現等への配慮）があれば、身の回りで起こったことや経験したことなどについて、簡単な表現語句を使用し、やりとりをすることができる。 | ・簡単な表現語句を使用し自分のことを紹介できる。<br>・日常生活において必要な情報を簡単な表現・語句を用いて伝えることができる。<br>・絵・写真など視覚的補助を使用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。 | ・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。<br>・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見に感想を、基礎的な語彙を用いて書くことができる。 |

## ３ 評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 英語の語彙、文法、構文などの正しい知識を獲得している。リスニングやライティング、コミュニケーションにおいて、場面や状況に対応した適切な表現や語句などを獲得している。 | 自らの置かれている状況や場面に応じ、また書き手話し手の意図を正しく汲み取り、獲得した知識から、相応しい語彙や表現を選び、適切に表現したり、自分の意見を伝えることができる。 | 教えてもらうだけではなく、自ら進んでより深く英語を理解できるように学習に取り組んでいる。また積極的に英語を使用しようとする姿勢がみられる。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 課<br>“題材名” | 領域 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| 前期 | 第１章<br>第２章<br>第３章<br>第４章 | 聞くこと | a: 英語の構造・品詞・時制を聞いて理解できる。<br>b: 英語の構造・品詞・時制を聞きながら違いを理解できる。<br>c: 英語の構造・品詞・時制を意識して聞こうとしている。 | 定期考査<br>リスニング |
| | | 読むこと | a: 英語の構造・品詞・時制を読んで理解できる。<br>b: 英語の構造・品詞・時制を読みながら違いを理解できる。<br>c: 英語の構造・品詞・時制を意識して読もうとしている。 | 定期考査<br>記述問題 |
| | | 話すこと<br>発表・やり取り | a: 英語の構造・品詞・時制について理解している。<br>b: 英語の構造・品詞・時制について違いが分かった上で話している。<br>c: 英語の構造・品詞・時制について理解をして話そうとしている。 | スピーキング<br>テスト |
| | | 書くこと | a: 英語の構造・品詞・時制について理解している。<br>b: 英語の構造・品詞・時制について違いが分かった上で書いている。<br>c: 英語の構造・品詞・時制について理解して書こうとしている。 | 定期考査<br>記述問題 |
| | 中間考査 | | | |
| | 第５章<br>第６章<br>第７章 | 聞くこと | a: 助動詞・受動態・不定詞を聞いて理解できる。<br>b: 助動詞・受動態・不定詞を聞きながら違いを理解できる。<br>c: 助動詞・受動態・不定詞を意識して聞こうとしている。 | 定期考査<br>リスニング |
| | | 読むこと | a: 助動詞・受動態・不定詞を読んで理解できる。<br>b: 助動詞・受動態・不定詞を読みながら違いを理解できる。<br>c: 助動詞・受動態・不定詞を意識して読もうとしている。 | 定期考査<br>記述問題 |
| | | 話すこと<br>発表・やり取り | a: 助動詞・受動態・不定詞について理解している。<br>b: 助動詞・受動態・不定詞について違いが分かった上で話している。<br>c: 助動詞・受動態・不定詞について理解をして話そうとしている。 | スピーキング<br>テスト |
| | | 書くこと | a: 助動詞・受動態・不定詞について理解している。<br>b: 助動詞・受動態・不定詞について違いが分かった上で書いている。<br>c: 助動詞・受動態・不定詞について理解して書こうとしている。 | 定期考査<br>記述問題 |
| | 期末考査 | | | |
| 後期 | 第８章<br>第９章<br>第１０章 | 聞くこと | a: 動名詞・分詞・関係詞を聞いて理解できる。<br>b: 動名詞・分詞・関係詞を聞きながら違いを理解できる。<br>c: 動名詞・分詞・関係詞を意識して聞こうとしている。 | 定期考査<br>リスニング |
| | | 読むこと | a: 動名詞・分詞・関係詞を読んで理解できる。<br>b: 動名詞・分詞・関係詞を読みながら違いを理解できる。<br>c: 動名詞・分詞・関係詞を意識して読もうとしている。 | 定期考査<br>記述問題 |
| | | 話すこと<br>発表・やり取り | a: 動名詞・分詞・関係詞について理解している。<br>b: 動名詞・分詞・関係詞について違いが分かった上で話している。<br>c: 動名詞・分詞・関係詞について理解をして話そうとしている。 | スピーキング<br>テスト |
| | | 書くこと | a: 動名詞・分詞・関係詞について理解している。<br>b: 動名詞・分詞・関係詞について違いが分かった上で書いている。<br>c: 動名詞・分詞・関係詞について理解して書こうとしている。 | 定期考査<br>記述問題 |
| | 中間考査 | | | |
| | 第１１章<br>第１２章 | 聞くこと | a: 比較・仮定法を聞いて理解できる。<br>b: 比較・仮定法を聞きながら違いを理解できる。<br>c: 比較・仮定法を意識して聞こうとしている。 | 定期考査<br>リスニング |
| | | 読むこと | a: 比較・仮定法を読んで理解できる。<br>b: 比較・仮定法を読みながら違いを理解できる。<br>c: 比較・仮定法を意識して読もうとしている。 | 定期考査<br>記述問題 |
| | | 話すこと<br>発表・やり取り | a: 比較・仮定法について理解している。<br>b: 比較・仮定法について違いが分かった上で話している。<br>c: 比較・仮定法について理解をして話そうとしている。 | スピーキング<br>テスト |
| | | 書くこと | a: 比較・仮定法について理解している。<br>b: 比較・仮定法について違いが分かった上で書いている。<br>c: 比較・仮定法について理解して書こうとしている。 | 定期考査<br>記述問題 |
| | 学年末考査 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態